

学習内容報告書

学校名	海陽町立 宍喰小学校
授業者	元木 理恵

1. 単元計画

1-1. 単元名

つながる宍喰プロジェクト ～考えよう！ 宍喰のSDGs～

1-2. 学年

第4学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間・図工・社会・国語・算数・学級活動・道徳・理科・音楽

1-4. 単元の概要

第3学年の総合的な学習の時間で作成した宍喰のまちのイメージマップの中から、子どもたちの興味が高い宍喰の自然と、伝統文化に焦点を当て、インタビューやフィールドワークを中心に、過去から今、今から未来につなげていく宍喰を考える。その過程で、まちのよさを“宍喰つながる遺産”とし、その多くは、まちの人の努力によって保全されていることを知り、今、そしてこれから自分たちは何ができるのかを考える。

学びをプレゼンテーションにして、ありがたいの集いや竹ヶ島海城公園魅力化事業シンポジウムで発表する場で、自分たちが知ったことや考えたことを人々に披露するとともに、支えてもらっている人々に、感謝の思いを伝える。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

児童は、好奇心旺盛で、前向きである。普段もまちや自然の中でよく遊んでいる。しかしながら、その自然や伝統文化については、触れたことはあっても深く考える経験は少ないように思う。そこで、実際にフィールドワークに出かけたり、ゲストティーチャーのお話を聞いたりして、過去から今、今から未来につなげていくような“宍喰のよさ”を見つけるとともに、自分たちの良さにも気づけるようにする。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- (1) 地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。
- (2) 探求的な学習の過程において主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かす。
- (3) 持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

1-7. 単元の展開（全68時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	<p>オリエンテーション</p> 	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学年の学習で思い出したことなどを、KJ法を使いまとめるように伝える。 宍喰のイメージマップをつくるため、付箋を使ってまとめるように伝える。 <p>【使用教材等】付箋、模造紙、マジック、ワークシート、ホワイトボード</p>
28	<p>宍喰の海 宍喰の山 ～めぐる自然 宍喰のまち～</p> <ul style="list-style-type: none"> ひじきの釜の見学 大手海岸での観察 大手海岸の清掃 	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に気をつけて活動するように伝える。 ワークシートに、記録させる。 ゲストティーチャーの話を聞き、宍喰の海や山についての思いや願いを考えさせる。 これから自分にできること、今自分にできることを考えさせ、活動を想起させる。 <p>【主な評価】思考力・判断力・表現力</p> <p>【外部連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海陽町役場 民宿えびす 戎谷愛氏 徳島森林づくり推進機構 工藤大和氏 海部森林組合 片山敬太氏 牟岐少年自然の家海陽環境学習アドバイザー 中島茂範氏 <p>【使用教材等】iPad, デジタルカメラ, 画用紙, マジック, プリンター, ワークシート</p>
15	<p>つながる！宍喰の祭り</p> 	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャーの方の思いや願いを聞き取り、ワークシートに記録させる。 宍喰祇園祭りがなぜ長い間続いてきたのかを考えさせる。 これから自分にできること、今自分にできることを考えさせ、活動を想起させる。 <p>【主な評価】思考力・判断力・表現力</p>

		<p>【外部連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤオハオ保存会 井上正氏 <p>【使用教材等】 iPad, デジタルカメラ, 画用紙, マジック, プリンター, ワークシート</p>
21	つながろう！つなげよう！宍喰	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで学習してきたことを、だれに、どうやって伝えるのかを考えさせる。 ・keynote の使い方を伝え、自分の考えや思いを表現させる。 ・発表を通して、どのような声の大きさや表情で話すか伝わりやすいかを動画などを見せながら考えさせる。 <p>【主な評価】 思考力・判断力・表現力</p> <p>【外部連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マリンジャム <p>【使用教材等】 iPad プロジェクター</p>
2	1年間を振り返って	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間で学習してきたことを友達と話し合ったり、共有しあったりするように、場の設定をする。 ・来年度の学習について、見通しを持たせる。 <p>【主な評価】 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>【使用教材等】 ワークシート</p>

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 68 時間中の 20 時間目

2-2. 本時の目標

ゲストティーチャーの思いや願いから、これまでの学習を振り返り、自分たちに関わってくださった方々に感謝をし、協働することの喜びや価値を感じ、自分自身や地域を大切に思う心情を高める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1. 前時の学習を振り返る。</p>  <p>2. 本時のめあてを確認する。</p>  <p>3. ゲストティーチャーのひじき作りへの思いについて話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの内容をあらかじめ、ゲストティーチャーと打ち合わせしておく。 ・ひじきの釜の見学時の様子がわかるような写真等を用意しておく。 ・iPad やファイルを使用する。   <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返り、考える。 ・自分の意見を伝えやすくするために、ペア学習してから発表する。 ・友達のことを聞いて、自分の意見と比べるなど、聞くことの手立てを話す。【評価】② <ul style="list-style-type: none"> ・自分達が次にまちづくりをする世代だということを知り、自分事として考えさせる。 ・今や将来、自分ができることを考えさせる手立てとする。 ・自分の意見が言いやすいように、ペア学習してから発表する。 <p style="text-align: right;">思考力・判断力・表現力 (観察・発言)</p>

4. ゲストティーチャーの話を聞く。

5. 本時のふり返りをする。



・今日の学習を見てもらい、率直なご意見、感想、子どもたちへのアドバイスをいただく。

・これまでの学習や本時の学習を通して、自分にはたくさんのができたり、多くの人に関わったり、自分や友達、故郷が好きと感じられたりしたことを表現できるようにする。

思考力・判断力・表現力（ワークシート）

3. 今回の活動の自己評価

今回ゲストティーチャーで来て下さった戎谷愛さんは、これまで加工して下さっていたひじきを学校給食に提供して下さっていた。その動画が、前年度の3学期に食育の一環として、給食の時間に紹介された。それをうけて、海の学習において、前年度の流れから、ひじきの加工を取り上げ、民宿えびすまで出かけて、ひじきの釜を見学した。戎谷さんとの出会いにより、生の声を聞いたり、大きな釜を見たりして実際のひじきの加工のことを身近に感じた。また、ひじきの生育や海の様子にも迫ることができた。このあと、実際に大手海岸に出かけ、宍喰の海の様子を観察することにした。子ども達の意識の流れを軸として、今回は学習を展開できたように思う。また、その後も、まちで戎谷さんと出会ったり、話をしたりした子もあり、学習を通して地域との交流にもつながっているように思う。最終的には、さらにまちの人にこのことを伝えようとマリンジャムで行われる海洋教育のイベントに発表の場を設定したり、学校行事である“ありがとうの集い”で発表したりするなど、より地域に広げようとする子ども達の姿が見られ、目標に迫ることができたと考えている。

4. 今後の課題

ひじきの加工については、宍喰で行われるのは今年で最後ということもあり、今まで特産品であった物がだんだんなくなっている現実がある。そのことを踏まえ、それをどう後世に伝えていくのか、また、来年度の展開には、ひじき加工を実際に見学に行くことが難しいため、どのような展開にするのかなど、学習内容の積み上げが非常に困難になるように思う。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

固有名詞，画像等の流用はしない。